



空間デザインの未来のために -3

『風呂に住む』

ー 熊本地震と「災害支援住宅」という新しいプロトタイプー

「日本空間デザイン賞」は、従来の商空間・演出空間などのカテゴリーに住居空間を新設しています。2021 年の大賞「KUKAN OF THE YEAR」には、その住居空間のカテゴリーから風呂に住む住宅「神水公衆浴場」が選ばれました。建築家西村浩氏と構造設計家で施主でもある黒岩裕樹氏が、風呂に住むに至る熊本の物語を直裁に語ります。
日本空間デザイン賞 2021 KUKAN OF THE YEAR 受賞 日本経済新聞社賞受賞。

開催日：2022 年 3 月 4 日（金）14:45-15:30 入場無料

会場： 東京ビックサイト・東ホール内ステージ（JAPAN SHOP 公式サイトから事前登録制）

講師



西村浩 / (株) ワークヴィジョンズ 代表取締役

全体統括・建築設計監理

建築家／クリエイティブディレクター

1967 年佐賀市生まれ。東京大学大学院／土木工学専攻修了後、1999 年ワークヴィジョンズ一級建築士事務所を設立。土木出身ながら建築の世界で独立し、現在は、建築・リノベーション・土木分野のデザインに加えて、全国各地の都市再生戦略の立案にも取り組む。2020 年には、同社佐賀オフィスもある故郷佐賀市に、ベーグル専門店「MOMs' Bagel」の事業主となり、マイクロペロッパーとしても佐賀のまちづくりにも取り組んでいる。土木学会デザイン賞、2021 年度土地利用モデル大賞／国土交通大臣賞の他、北海道岩見沢市の「岩見沢複合駅舎」では、日本建築学会賞（作品）、グッドデザイン賞・大賞を受賞。



黒岩裕樹 / (株) 黒岩構造設計事務所 代表取締役

構造設計

1980 年熊本県生まれ。博士（工学）、構造設計一級建築士、九州大学非常勤講師。

2003 年琉球大学環境建設工学科卒業。2003 年～2006 年鈴木啓/ASA 勤務。2006 年黒岩構造設計事務所設立。2008 年九州大学大学院博士前期課程修了。2013 年熊本大学大学院博士後期課程修了。熊本地震で被災し自宅を再建する事になり、2020 年に地元熊本市中央区で神水公衆浴場の施主となる。主な作品に鹿児島世界文化遺産オリエンテーションセンター（鹿児島県）、琉球村泡盛工場（沖縄県）、Frankfurt main matsuri（ドイツ）、平戸城・城泊（長崎県）、深圳国際花園展（中国）、大濠テラス（福岡県）、熊本県フットボールセンター（熊本県）、盛岡バスセンター（岩手県）。主な共著書に『構造設計を仕事にする』（学芸出版社、2019 年）等。

ファシリテーター

飯島直樹 / 日本商環境デザイン協会理事 / 飯島直樹デザイン室